

令和 8 年 9 月市議会定例会提出議案「記者説明会」

令和 8 年 9 月市議会定例会は、9 月 1 日に招集することで、本日、告示を行いました。

9 月議会に提案いたします議案としては、甲議案として 8 件、乙議案として 7 件、諮問 2 件、報告 5 件の計 22 件について提案し、ご審議をお願いすることとしております。

なお、人事案件であります「鳥栖市固定資産評価審査委員会委員の選任について」「人権擁護委員候補者の推薦について」は、後送議案といたします。



鳥栖市
Tosu city

令和8年9月定例会議案のポイント

令和 8 年 8 月
鳥栖市

- 学校給食を食べられない子どもにも給食費相当額を給付
- いじめ重大事態調査報告書・意見書の提言を踏まえ対策を検討

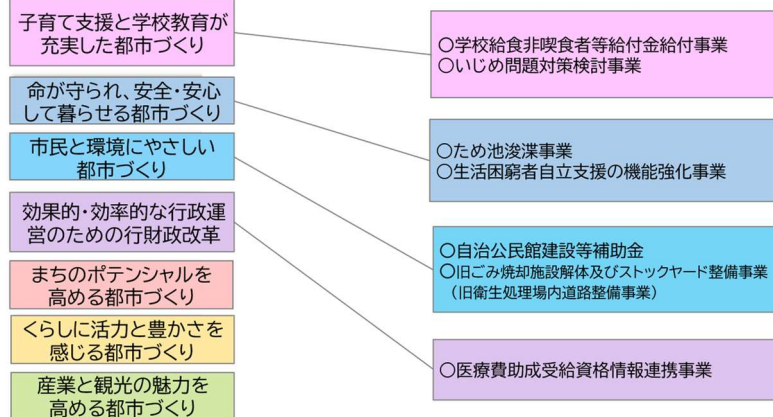
今回提案する 9 月補正予算につきましては、

- 学校給食を食べられない子どもにも給食費相当額を給付
- いじめ重大事態調査報告書・意見書の提言を踏まえ対策を検討

などをポイントとして、一般会計で 9 億 2 千 7 百 8 0 万 4 千円 の補正予算となります。

それでは、令和 8 年度 9 月補正予算の概要につきまして、説明いたします。

鳥栖市重点戦略に対応する新規事業等



2

第7次鳥栖市総合計画において、特に私の公約との親和性が高い事業を「重点戦略」として位置付けております。

「重点戦略」を構成する7つの柱のうち、今回の補正予算につきましては、4つの柱について予算を提案いたしました。

子育て支援と学校教育が充実した都市づくり

○学校給食非喫食者等給付金給付事業 6,555千円 **新規**

市立小中学校に在籍するも学校給食を食べられない子ども（非喫食者や長期欠食者）の保護者へ給食費相当額を給付します。

○いじめ問題対策検討事業 193千円 **新規**

市立中学校いじめ重大事態調査報告書及び意見書における提言内容を踏まえ、学識経験者をアドバイザーとして迎え、いじめ問題対策を検討します。

3

まず、『子育て支援と学校教育が充実した都市づくり』でございます。

・学校給食非喫食者等給付金給付事業 につきましては、

学校給食費の負担軽減を通じた子育て支援に取り組むため、市立小中学校に通いながらもアレルギー等により給食を食べられず弁当を持参している（非喫食者）場合や不登校や入院等で給食を食べていない（長期欠食者）場合に、その児童・生徒の保護者へ給食費相当額を給付するものでございます。

・ いじめ問題対策検討事業 につきましては、

市立中学校いじめ重大事態調査報告書及び意見書の提言内容を踏まえて、いじめ問題対策の検討に際し、学識経験者をアドバイザーとして迎え、対策の検討を行うものでございます。

命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり

○**ため池浚渫事業** 20,000千円 **新規**

吉原ため池（立石町）について、大雨等で市道や法面から流れ込んだ堆積土砂を撤去します。

○**生活困窮者自立支援の機能強化事業** 2,500千円

物価高騰による生活困窮者の増加に対応するため、生活困窮者支援活動を行う民間団体に対して活動支援を行い、生活困窮者自立支援の機能強化を図ります。

4

次に『命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり』でございます。

・ ため池浚渫事業 につきましては、

立石町にある「吉原ため池」について、大雨等による市道及び法面から流入した堆積土砂の撤去を行うものでございます。

・ 生活困窮者自立支援の機能強化事業 につきましては、

物価高騰による生活困窮者の増加に対応するため、地域の生活困窮者支援に取り組む民間団体に対して活動支援を行い、生活困窮者自立支援の機能強化を図るものでございます。

市民と環境にやさしい都市づくり

○自治公民館建設等補助金 360千円

中央区会館及び西新町公民館の改修工事等に対し、補助を行います。

○旧ごみ焼却施設解体及びストックヤード整備 事業 23,000千円 (旧衛生処理場内道路整備事業)

ストックヤード建設予定地に繋がる道路の舗装や植栽等の撤去などの道路整備を行い、利用者の円滑で安全な通行を確保します。



5

次に、『市民と環境にやさしい都市づくり』でございます。

・自治公民館建設等補助金 につきましては、

地域における住民交流等の拠点である、中央区会館と西新町公民館の改修工事等の一部を補助するものでございます。

・旧ごみ焼却施設解体及びストックヤード整備事業（旧衛生処理場内道路整備事業） につきましては、

来年4月から供用開始を予定してるストックヤード建設予定地に繋がる道路の損傷が著しいため、植栽の撤去や舗装を行い、車道を拡幅するなどの道路整備を行い、ストックヤード利用者の円滑で安全な通行を確保するものでございます。

効果的・効率的な行政運営のための行財政改革

○医療費助成受給資格情報連携事業 9,022千円

新規

国が推進する「医療DX」の取り組みとして、自立支援医療費の給付や子どもの医療費助成等について、受給資格情報を連携するシステム改修を行い、マイナ保険証等によるオンライン資格確認を推進し、受給者の利便性向上を図ります。

6

最後に、『効果的・効率的な行政運営のための行財政改革』でございます。

・医療費助成受給資格情報連携事業 につきましては、

国が推進する医療 DX の取り組みとして、自立支援医療費の給付や子どもの医療費助成等について、受給資格情報を連携するシステム改修を行うもので、この改修により、紙の受給者証を持参する必要がなくなり、マイナ保険証1枚での受診が可能となることで、受給者の利便性の向上を図るものでございます。

以上が、9月補正予算の主な内容となりますが、
今回の補正額は、9億2,780万4千円を補正し、
補正後の一般会計予算額は 366億1,144万9千円となります。